

変更理由書

1 変更理由

今回、用途地域変更の対象となる若里地区は、長野駅南側に位置し、駅へのアクセスの良さと豊かな生活利便性を兼ね備えた地区であり、長野赤十字病院をはじめ、信州大学工学部や若里市民文化ホール、県立長野図書館などの都市機能の集約が図られている。

長野赤十字病院は明治 37 年に発足以後、基幹的な総合病院として、北信地域の医療の拠点となっている。第三次救急医療、大学病院に準じた高度先進医療、また、長野県唯一の基幹災害拠点病院であり、入院、外来患者の約 8 割が長野市民である。

現在の長野赤十字病院は、昭和 58 年に長野市北石堂から若里に移転して以来、43 年が経過し、建物の老朽化や敷地の狭隘化が進んでいることから、建替えの必要が生じている。

現敷地では、病院機能を維持しながら改築することが困難な上、現敷地の建物の一部を改築後も継続して使用するため、「新病院建替計画 基本計画」において隣接地を建設予定地として選定し、建替えが計画されている。

長野市都市計画マスタープランでは、若里地区を福祉・健康・病院関連施設や大学等を核とした医療、教育、研究機関の拠点づくりを進めるエリアと位置づけており、立地適正化計画において都市機能誘導区域を指定し、広域拠点にふさわしい都市機能の維持、集積を促進することとしている。

建設予定地の用途地域は工業地域であり、病院建設が不可能であるため、高齢社会の進展等に対応して、都市生活を支えるサービス機能を担う施設の整備及び機能更新を誘導する地区として用途地域を見直すこととする。地域医療の安定的かつ継続的な提供及び医療機能の充実を図るため、周辺の用途地域の連続性や調和、土地利用状況を総合的に勘案し、用途地域を第一種住居地域に変更するもの。

2 用途変更箇所

No	地区名	面積	変更前用途地域	変更後用途地域
1	若里六丁目地区	約 4.2ha	工業地域 建ぺい率 60% 容積率 200%	第一種住居地域 建ぺい率 60% 容積率 200%
計		約 4.2ha		